

労組じゃなけりや、 民主じゃない。

この度の参議院選挙の結果を見て驚きました。民主党の比例代表の当選者16人のうち、労組出身者が実に10人もいるのです。平成16年の8人、平成19年の7人を大きく上回る結果です。民主党の“労組丸抱え体質”が、改めて明白になりました。

国をあげて経済を立て直すべきこの時に、労働組合ばかりに目を向けた偏った政策を進めるわけにはいきません。

労組の支援を得て当選した民主党の比例代表選出参議院議員

● 自動車労連	直嶋 正行	現	207,821 票
● 電力総連	小林 正夫	現	207,227 票
● U-Iゼンセン	柳沢 光美	現	159,325 票
● 情報労連	石橋 通宏	新	150,113 票
● JP労組（郵政）	難波 奨二	新	144,782 票
● JAM（機械・金属産業）	津田弥太郎	現	143,048 票
● 日教組	那谷屋正義	現	139,006 票
● 自治労	江崎 孝	新	133,248 票
● 電機連合	加藤 敏幸	現	120,987 票
● JR総連	田城 郁	新	113,468 票

私たち自民党は、
各界各層の意見に真摯に耳を傾け、
真の国民政党として
国民のための政治を
ひたむきに実行していく決意です。

自民党